

## 本巢市地域福祉計画・地域福祉活動計画（案）に対するパブリックコメント結果

- 1 募集期間 令和5年1月4日（水）から令和5年2月3日（金）まで
- 2 閲覧場所 ・市窓口における閲覧（真正分庁舎福祉敬愛課、本巢本庁舎地域調整課・糸貫分庁舎地域調整課、根尾総合支所総務産業課）  
・市ホームページへの掲載
- 3 提出件数 3件（1名）
- 4 意見の要旨と市の考え

No.	意見の要旨	市の考え
1	民生委員や福祉協力員の役割が過重になってきていると思います。全国的には、担い手不足と高齢化が指摘されており、本巢市も同様かと思います。本来は、正規の公務員の増員が必要だと思いますが、少なくとも、担い手の方々の待遇改善を福祉施策の優先課題とすることが必要だと考えます。	計画書（案）のP19にも掲げたように「地域の担い手不足」は本巢市も大きな課題と認識しています。本巢市の人口が減少していく中でも担い手の確保・維持対策を講じていくとともに、地域が協力して各種課題を解決していく地域性をも醸成していくよう努めていきます。
2	多くの方が長寿となることは喜ばしいこととの認識が必要と考えます。また、高齢者が健やかに、地域で社会とのかかわりを持ち続け、その豊富な経験や能力を活かし続けてもらえるようにするという視点が大切だと思います。	ご意見のとおり、健康寿命の延伸に加え、地域の中で高齢者を含めたすべての市民が交流できる仕組みづくりが必要であると考えています。本巢市では、地域福祉計画のほかに、老人福祉計画、健康増進計画、さらに、もとす広域連合による介護保険事業計画などを策定しており、多くの分野にまたがる各種計画との連携を通じて、ご意見のような認識・考え方が地域に浸透していくよう努めていきます。
3	いかに健康寿命を延ばし、医療費などの社会的負担が少なく済ませることができるようにするかを考えた対応が、行政や社会の側には、求められていると考えます。 具体的には、予防医療の観点で、もう一步進めた施策として、「子どもの歯科矯正治療」の推進、小学校入学時検診での「足型検診」の標準実施、インソール代金の窓口で一時支払いをしなくて済むようにする施策などが必要なのではないかと思います。	前述のとおり、本巢市では分野毎に計画を策定し、その連携を通じて施策を講じています。健康にかかる具体的な施策に関しては、他自治体の先進事例等も参考にしつつ、担当部局との情報共有、連携しながら検討していきます。